

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000143
事業所名	グループホーム真寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 地域の夏祭りや清掃活動に参加し、恒例となった近隣高校の文化祭へ出かけるなどの交流を重ねている。地域に向け、認知症相談窓口設置や施設見学会を行い、情報発信に努めている。特に今年度は、法人として「地域の居場所作り」を事業計画の一つに上げており、まずは、手始めとして「認知症カフェ」へとつながる「ぬくといカフェ」の開催を予定している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 運営推進会議は法人全体で行い、今年度は意見交換に重きを置いたグループ討議をしている。利用者家族と施設職員、地域代表者と施設責任者の2グループに分け活発な意見交換が行われた。会議に、市役所の長寿介護課職員が「地域の支え合い活動」についての説明をするために出席している。「町の居場所作り」についての話し合いを行い、「ぬくといカフェ」開催につなげている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 利用者の申請、手続きなどで役所を訪れるなど、情報交換を密に行っている。役所から職員が、運営推進会議に資料や映像を用いて「地域の支え合い活動」についての説明に来るなど、良好な連携が出来ている。また、事業所も市主催の「まちの支え合い作りフェア」に職員が参加するなどして、積極的な取り組みを考えている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 家族は、面会時に利用者ごとの担当職員へ意見、要望を伝えたり、運営推進会議などでも多くの提案をしている。事業所玄関にあたるエレベーター前に、今日の出勤スタッフの掲示や、クリーンアップスタッフとして、居室の扉に掃除担当職員の名前を掲示するなどの意見が反映されている。毎月、担当職員が家族へ手紙を出し、意見箱の設置も行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○				